

# 十六アジアレポート 2021年11月号

JUROKU ASIA REPORT NOVEMBER 2021

2021年11月1日 発行 十六銀行 ソリューション営業部 海外サポート室

## 目次

1. ベトナム:「SDGs 優先課題と『中小企業・SDGs ビジネス支援事業』」  
ベトナム投資開発銀行 ジャパンデスク 川畠宏保
2. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

# 1. ベトナム:「SDGs 優先課題と

## 『中小企業・SDGs ビジネス支援事業』

ベトナム投資開発銀行 ジャパンデスク 川島宏保

SDGs (Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標)。2016年から2030年までの15年間で達成すべき世界共通の目標として、先進国や発展途上国といった国の事情を問わず、世界規模での取り組みが加速しています。

私がベトナムに赴任してから、およそ1年11か月。現地での日々の生活や業務を通して、よりSDGsの意義について考える機会が増えてきたと感じています。近年、東南アジアの中でも目覚ましい経済成長を遂げ、レクサスやメルセデスベンツといった高級車を所有する富裕層が増えている一方、解決すべき課題も多く抱えているからだと思います。例えば、世界でもワースト1位、2位を争う大気汚染問題（特に11月～2月頃のハノイの空気は悪い印象です）や、子供の教育のために都市部からの寄付や支援を必要としている地方農村、山岳部の貧困・格差問題が挙げられます。

今回はベトナムのSDGs優先課題と課題解決をビジネスモデル化する「中小企業・SDGsビジネス支援事業」の概要についてお伝えしたいと思います。

### ■ベトナムにおけるSDGs優先課題

SDGs実施における優先課題は、各国の情勢によって異なります。日本であれば、「あらゆる人々の活躍の推進」、「健康・長寿の達成」、「成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション」などのいわゆる成熟した先進国らしい項目が「SDGs実施指針」に8つの優先課題として定められています。

一方、ベトナムでは2017年に政府により策定されたOSP (The One Strategic Plan) において、「人々への投資」が重点分野として位置づけられています。具体的に求められている成果は「貧困の削減」、「健康格差の解消」、「教育格差の解消」です。「チャイナ・プラスワン」の最有力国として注目を集めるベトナムは、積極的な海外直接投資 (FDI/Foreign Direct Investment) を背景に、全国の貧困世帯比率は減少傾向にあります。しかしながら、ハノイ、ホーチミンといった主要都市において富裕層が増加する反面、農村部（特に少数民族が多く居住する地域）との格差が広がるのが問題視されています。多くの少数民族が暮らす北部屈指の観光地サパでは、観光客に物売りをする子供たちが多く徘徊しています【写真】。生活費を稼ぐために教育を受ける機会を犠牲にしていると指摘する声もあり、貧困・格差問題を象徴しているように思います。



【写真】 サパで物売りをする子供

なお、「人々への投資」の他には、「気候変動への対応と環境の持続性の確保（低炭素社会の実現、気候変動および自然災害への対応強化）」も重点分野として挙げられています。

今後、ベトナムで事業を展開する外国企業に対しては、これらの重点分野の解決につながるような事業展開がより期待されていくでしょう。

## ■中小企業・SDGs ビジネス支援事業について

最近では、国際協力機構（JICA）が実施している「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」への関心が高まり、申請検討に向けた問い合わせや相談が増えています。同事業は、中小企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱えている課題を解決することおよび日本企業（中小・中堅企業）の海外展開を併せて実現することを目的とした委託事業です（補助金事業ではありません）。

事業化のステージによって「基礎調査」、「案件化調査」、「普及・実証・ビジネス化事業」に分類されており、「基礎調査」で採択されるとビジネスモデル検討に必要な基礎情報の収集に対して、「案件化調査」で採択されるとビジネスモデル策定に対して支援を受けることができます。途上国の課題解決に最も資するステージの「普及・実証・ビジネス化事業」で採択されると、ビジネスモデルの検証、事業計画案の策定に対して支援を受けることができます。同事業における一定規模の資機材調達・据付や現地活動費用等に対する支援金額、支援期間は、1件あたり上限1億円、1～3年程度となっており、新たな海外事業を展開する中小企業にとって大きなメリットになるものと考えられます（事業の公募は例年、年に2回実施され、2021年度第1回の公募受付は終了しております）。

課題解決に資すると考えられる主な事業分野、製品・技術の例は下記【表】の通りです。採択を受けるためには、前述の「ベトナムにおける優先課題」解決への貢献性を具体的に事業計画書によって示すことが必要です。ベトナムにおいては、農業、水の浄化・水処理、環境・エネルギー、保健・医療、廃棄物処理といった分野の採択が多いなど、国ごとの優先課題によって特徴が現れます。進出先の優先課題を念頭に置き、それに応じたビジネスモデル策定を行う必要があります。

【表】課題解決に資すると考えられる製品・技術例

事業分野	製品・技術の具体例
農 業	精米機、グリーンハウス、収穫・加工用機械 等
水の浄化・水処理	水質測定機材、浄水器、ろ過装置、浄化槽 等
環境・エネルギー	再生可能エネルギー発電、バイオトイレ、雨量監視システム
保健・医療	電子カルテ、医療ネットワークシステム、X線診断装置、分娩監視装置、携帯医療機器 等
教 育	音声ペン、eラーニングシステム、理科教材、理科実験器具 等
廃棄物処理	有機ゴミ処理技術、都市ごみ埋立地再生技術、医療廃棄物処理、廃プラ燃化技術 等

出所：JICA「JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業概要説明資料」より筆者作成

## ■最後に

ベトナムに限らず日本企業が海外への事業展開を考える上で、「進出先のSDGs 優先解決に貢献する」という視点は今後ますます重要になってくると思います。

自社製品、技術、これまでに培ったノウハウを活用し、現地の人々の暮らし向上に貢献する事業展開を検討する上で、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」の活用は有効です。

ベトナム現地で皆さまの事業展開のお手伝いができることを楽しみにしています。

## 2. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位:1人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
9月27日	17.11830	9月28日	17.17888	9月29日	17.25477	9月30日	17.26251	10月1日	-
10月4日	-	10月5日	-	10月6日	-	10月7日	-	10月8日	17.28788
10月11日	17.41432	10月12日	17.59077	10月13日	17.57222	10月14日	17.59789	10月15日	17.67097
10月18日	17.77683	10月19日	17.77146	10月20日	17.88109	10月21日	17.90414	10月22日	17.79613

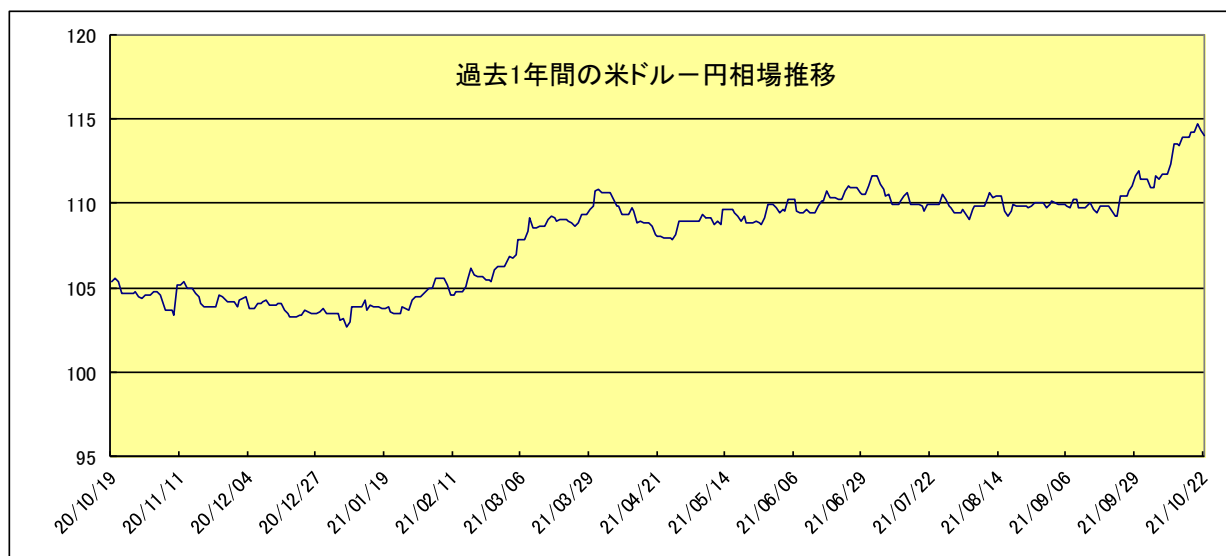


上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。  
そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

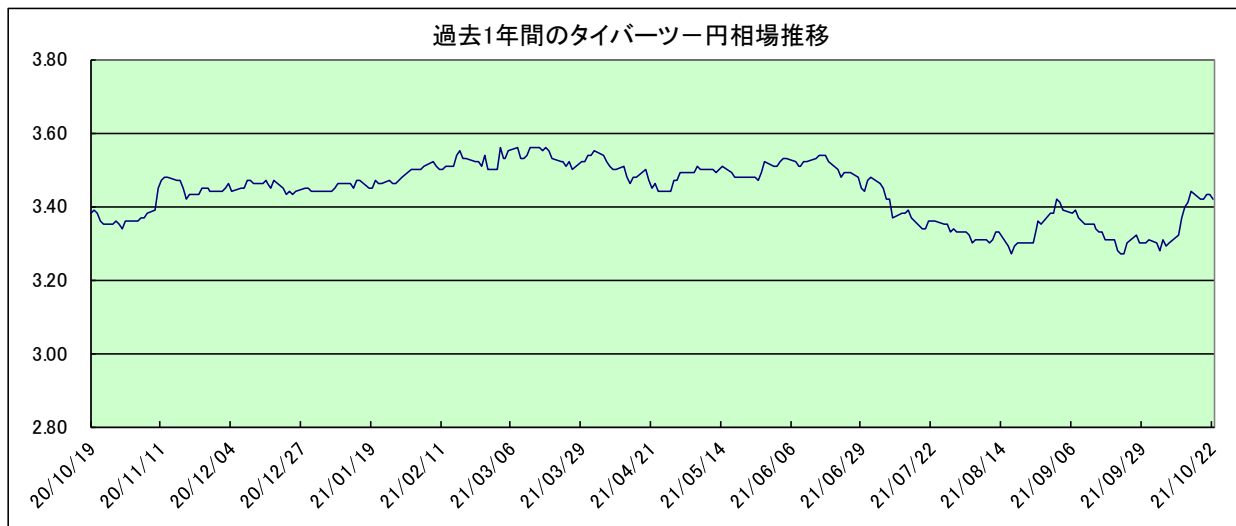
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
9月27日	110.75	9月28日	111.04	9月29日	111.65	9月30日	111.92	10月1日	111.43
10月4日	110.99	10月5日	110.91	10月6日	111.63	10月7日	111.40	10月8日	111.73
10月11日	112.30	10月12日	113.50	10月13日	113.49	10月14日	113.39	10月15日	113.89
10月18日	114.27	10月19日	114.20	10月20日	114.68	10月21日	114.28	10月22日	114.03



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1バーツ当たりの日本円)

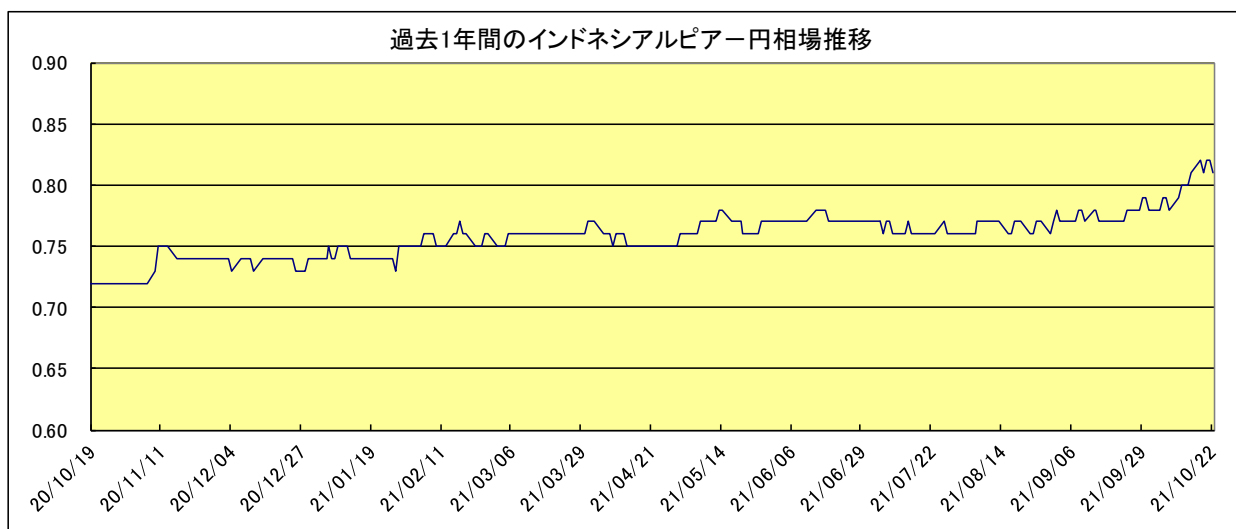
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
9月27日	3.3200	9月28日	3.3000	9月29日	3.3000	9月30日	3.3000	10月1日	3.3100
10月4日	3.3000	10月5日	3.2800	10月6日	3.3100	10月7日	3.2900	10月8日	3.3000
10月11日	3.3200	10月12日	3.3700	10月13日	3.4000	10月14日	3.4100	10月15日	3.4400
10月18日	3.4200	10月19日	3.4200	10月20日	3.4300	10月21日	3.4300	10月22日	3.4200



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

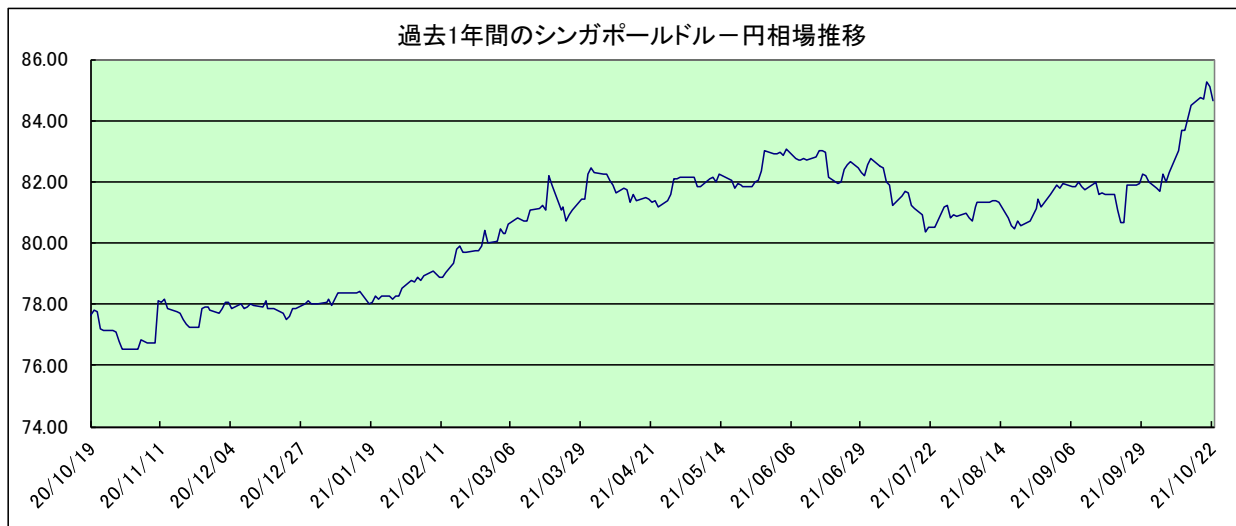
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
9月27日	0.7800	9月28日	0.7800	9月29日	0.7900	9月30日	0.7900	10月1日	0.7800
10月4日	0.7800	10月5日	0.7800	10月6日	0.7900	10月7日	0.7900	10月8日	0.7800
10月11日	0.7900	10月12日	0.8000	10月13日	0.8000	10月14日	0.8000	10月15日	0.8100
10月18日	0.8200	10月19日	0.8100	10月20日	0.8200	10月21日	0.8200	10月22日	0.8100



(5) シンガポールドル-円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
9月27日	81.9000	9月28日	81.9500	9月29日	82.2600	9月30日	82.2000	10月1日	81.9800
10月4日	81.8000	10月5日	81.6700	10月6日	82.2400	10月7日	81.9700	10月8日	82.2800
10月11日	83.0200	10月12日	83.7000	10月13日	83.6800	10月14日	84.0700	10月15日	84.4800
10月18日	84.7300	10月19日	84.7000	10月20日	85.2400	10月21日	85.1300	10月22日	84.6600



(6) ベトナムドン-円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
9月27日	4.8600	9月28日	4.8700	9月29日	4.9000	9月30日	4.9100	10月1日	4.8900
10月4日	4.8700	10月5日	4.8700	10月6日	4.9000	10月7日	4.8900	10月8日	4.9000
10月11日	4.9300	10月12日	4.9800	10月13日	4.9800	10月14日	4.9800	10月15日	5.0000
10月18日	5.0200	10月19日	5.0100	10月20日	5.0300	10月21日	5.0200	10月22日	5.0100

